

第14号 松前屋通信

18年3月20日発行
発行人・編集人：MDMチーム
発行：株式会社 松前屋
大阪市中央区心斎橋筋2-8-1
TEL(06)6213-0084 FAX(06)6213-5172

皆様こんにちは～！！いかがお過ごしでしたか？新年明けてからの初通信でございます。おめでとうございます。なんて言っていたかと思いきや。あっという間に春です～♪健康法師も復活です。元気いっぱいまいりましょう！それでは松前屋通信14号スタートー！！

心斎橋

スーリー 高田が行く～♪

いつもの潜入ルポのはずが、今回は本店・高田がルポされてしまいましたの巻です。1月16日、テレビ局から電話があり、明日取材したいとイキナリの申し出でした。心斎橋に店がありますとこういつた取材は年に何回かあり、そう珍しいことではないのですが、今回は高田が懸命に化粧をしてテレビ取材を受けました。前日から入念に準備をしていましたが、なんとカメラの回っている時間の短いこと。女優気分でいられたのも僅かな時間で、物足りないことこの上なし！「ちゅ～ねん！」という番組で、吉本の女性タレントが潜入ルポしながら、店頭で商品を食べたり、美味しいと大騒ぎするのはいいのですが、個人的には満たされず…。ところが実際にオンエア直後から、本店への商品問い合わせの電話が次々と掛かってきます。百貨店の松前屋のお店にもやはり同様に電話攻勢です。う～む、やはりテレビの力は凄いなあと感じつつ、でも今までにはないほどの大反響でした。なんで？なんで？家に帰って、番組の録画を再生してみて、なあ～るほど…。このタレント達が、本店でのビデオを流した後、スタジオでまたまた弊社の商品を取り出してみんなで食べているのです。彼らは自分らのポケットマネーでもたくさん買ってゆきましたが、本当に美味しいと思っているんですね。その表現は確かに信憑性があり、わあわあといって臨場感がありと…。色々な料理番組の中で褒めちぎるレポーターがたくさんいますが、それ程でなくともレポーターは褒めるのが仕事。それって自然に伝わってきますよね。今日のはたいしたことないな…って。

しかし、今回の菅ちゃんらは、取材用以外に自腹で購入してくれ、心底美味しいと感激してくれていたわけです。実感あるものは、演技力なくとも伝わる！店頭では安易に試食を出してお客様に体感していただく自分達ですが、自分達販売員にまずは美味しいという自信と実感がまだまだ弱いと、身につまされる思いでした。

本店 高田

松前屋★唯一自慢

【松前屋 楽天市場店】の店長をしております、通称「千佳子さん」こと松村千佳子です。店長暦は駆け出しの8カ月。結婚暦は円熟の18年。パートナーは、たびたび当紙面に登場の健康法師どの。松前屋ではかなりレアなたった一人の東北人（福島）です。

忘れもしません。主人と知り合った頃、「実家はこぶ屋ですねん。」と言われた時に頭に浮かんだ「？」マーク。まず、こぶ＝昆布と分かるまでに、数秒は優にかかりました。次に、こぶ屋っていったい何屋さんという疑問が？おそらく、出し昆布やかつおぶし、豆類を小売りする乾物屋さんだろうと思ひこみました。東北には一切ない業態です。誤解したまま、さすがに関西では乾物屋さんの息子でも漫才師並みのしゃべくりなんだ！と感動しました。ほとんど口もはさめず、彼のマシンガントークに圧倒され、気がついたら結婚の運びに。関西人と直接接したのは主人が初めてでしたので、こちらの人は皆こんなかと思っておりましたが、実際に暮らしてみるとそうでもないようです。主人はかなりユニークで私には『オモイイ』人です。縁あって夫婦になりましたからには、一生かけてこの人の面白みを堪能させていただくつもりです。かく言う東北人の私も口数も多くなり、大阪弁が染み付いてきましたが、元々寒冷地仕様の身体にはここ大阪の異常な暑さは堪えます。

【松前屋 楽天市場店】 <http://www.rakuten.co.jp/matumaeya/index.html>
ルーツは東北人が店長のこぶ屋です。どうぞ一度ご覧になってくださいませ！



今回の一番自慢は



今回の一番自慢

松前屋楽天市場店のサイト
店長・千佳子さん。健康法師の
嫁さん暦・苦節18年！
その我慢強さナンバー1とされる
秘密に迫る今回の自慢話は、むしろ社内の注目の的でしょうか？
ゆっくりしてはりますわあ…
この人…。